



秋葉区「九条の会」事務局
新津教育会館内
新潟市秋葉区善道町2-9-44
Tel 0250-23-0764 Fax 0250-23-0764
<http://9jo.iinaa.net/index.htm>

秋の国会に「特定秘密保護法案」を提出

— 主権者・国民に 秘密をつくる国は危ない —

秋の国会に特定秘密保護法案が出されます。とんでもない法案で、戦争する国への下準備です。

- ① 国が特定秘密を指定する。指定秘密を漏えいした場合は、最高刑10年を科す。
- ② 特定秘密とは、外交、防衛に係る事項(核兵器、ロケット、無人機、兵器等の性能、計画書、軍隊の配置、防衛陣地、暗号等)
- ③ 特定秘密取扱者の指定と身辺調査の実施(対象…本人、父母、子、兄弟、同居人、配偶者の父母及び子)
- ④ 報道の自由には十分に配慮する。 ※ 批判をかわすために書き加えただけ

日本弁護士連合会は強く反対する ～2013年9月12日～

- 1、日本国憲法の基本原理を尊重する立場から、強く反対する。
- 2、「テロ防止活動」に関する情報が広範不明確である。
- 3、「テロ活動」の防止のための「措置」「計画」「研究」は無限に広がる可能性がある。

日本新聞協会が「強い危惧」の意見書

- 1、憲法が保障する取材・報道の自由が制約される。民主主義の根幹である『国民の知る権利』が損なわれる。
- 2、何が特定秘密に当たるかをチェックする仕組みがない。政府にとって不都合な情報を恣意(しい)的に指定したり、国民に必要な情報まで秘匿する。
- 3、公務員らの情報公開に対する姿勢を過度に萎縮させる。

女優・藤原紀香さん 「秘密保護法」に危惧の声

みなさん、「秘密保全法」って知っていましたか？ 知らない人が多いので、今日はダイアリーに書いてみます♪

秘密保全法案を、各所で読んでみたらその適用範囲が曖昧なので、そのようなスパイ行為にあたるものだけでなく、国がこの案件は国家機密である」と決めたことに関しては、国民には全く知らされないことになり、放射能汚染、被爆などのことや、他に、もし国に都合よく隠したい問題があった、それが適用されれば、私たちは知るすべもなく、しかも真実をネットなどに書いた人は罰せられてしまう。原発の問題や放射能の問題は、国民が知るべきことだと思うので、その国家機密にあたる範囲がどこまでなのか、曖昧なのが問題なのだと思います。「国の情報は公開が大原則のはず。」そうですよね、国民は知る権利があると思います～



「藤原紀香のダイアリー」～9月13日～より

集団的自衛権で尖閣諸島は守れるか？

星 真人(北上)

集団的自衛権とは本国(日本)が直接的に攻撃されなくても同盟国が攻撃されたときに一緒になって戦うことを言うらしい。しかし日本はアメリカ(の軍隊)が攻撃されたらそこに自衛隊を出して一緒に戦うとしてもアメリカは中国とはもめ事を起こしたくない旨を繰り返し表明しているのでアメリカは「狐の後ろに控える虎」では絶対がない。つまり、集団的自衛権では尖閣諸島を守れない。

一方、安倍総理大臣は東アジアサミットで中国を除く東アジア諸国にエールを送り、中国包囲網を築こうとした。しかし、大きな賛同を得ることはできず、各国首脳への尖閣諸島問題の提起を諦めざるを得なくなり、議長声明では肝心のところは表現をぼかされた(10月11日新潟日報)。逆に中国には「余計なことを言うな」という趣旨の発言がなされた。

以上のことからわかるように安倍外交は完全に破綻している。尖閣諸島の帰属の問題は集団的自衛権や中国包囲網といった力による外交では通用しないのだ。

「ドアは常にオープン」と言いながら「尖閣諸島に領土問題は存在しない」といつて交渉しないのは他ならぬ日本なのだ。尖閣諸島が日本の領土であることは歴史的にもはっきりしている。ここはすぐさま交渉に応じて世界に日本の正当性を主張し、認めてもらうことが何よりの解決策であろう。

集団的自衛権は憲法違反というだけでなく、アメリカには大助かりだろうが日本には何の恩恵もなく犠牲になる義務が生じるだけというのが真実だろう。

立憲主義と憲法 9 条をまもる 新潟県民の集い

日時 10月27日(日) 13:30~15:30
会場 燕三条地場産業振興センター メッセピア (三条市須頃)
講演 浅井基文さん(元外交官、前広島平和研究所長)
入場料 500円

日本国憲法は、いま、最大の危機を迎えています。昨年4月に公表された自民党の憲法草案は、戦争放棄を謳った憲法9条を変えるばかりか、国民の権利を制限し、個人の自由を縛るものです。国会は、昨年の衆院選、今年の参院選で改憲勢力が議席を増やし、憲法「改正」が現実味を帯びてきています。若者、子どもたちを戦場に送らない、自由と民主主義をまもるため、新潟の地から声をあげましょう！

呼びかけ人 *****
大平美恵子(長岡市議会議員)、河内さくら(料理研究家)、小池清彦(加茂市長)、小林茂(ドキュメンタリー映画監督)、
笹口孝明(笹祝酒造株式会社社長)、島津光夫(元新潟県立女子短期大学学長)、高畑興四夫(新潟県保険医会会長)、
田才栄敏(県総合生活協同組合連合会会長理事)、中原雅司(羽茂農協代表理事・組合長)、中村啓織(元新潟県仏教会会長)、
長谷川尋紀(長谷川商店専務)、畠山徳雄(ギタリスト)、山崎勉(スペースBe理事)、和田光弘(弁護士) (50音順)